

・CHALLENGE・
YOUR
SENSES
ENJOY THE
UNIQUE

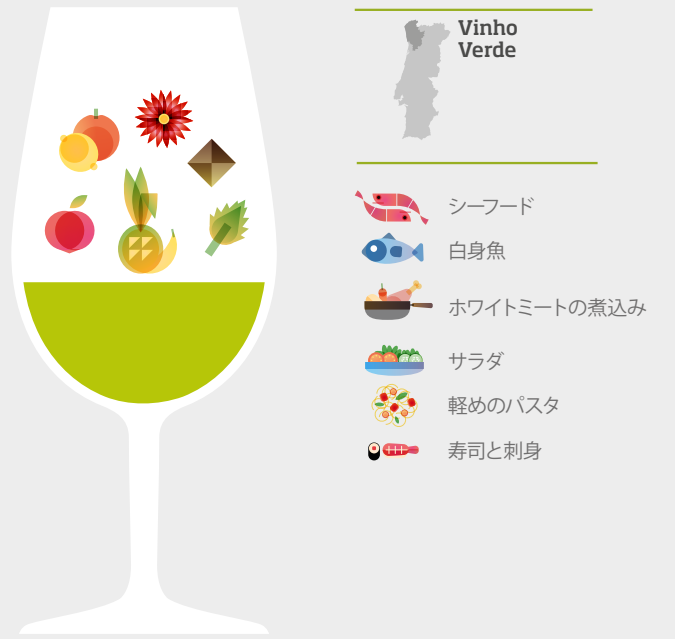


いつもと同じワインに飽きていないだろうか？ あなたは、常に新しい感動や経験を探求する冒険者、あるいは、優れたワインの複雑さやエレガントさを堪能する通人だろうか？

250を超えるネイティブ品種（土着品種）と、比類なきテロワールの多様性を備えたポルトガルワインは、それぞれの消費者に常に何かしらの発見をもたらすだろう。しかも、とてもユニークな何かを。もっとも知名度の高いポルトガル品種10種を紹介しよう。

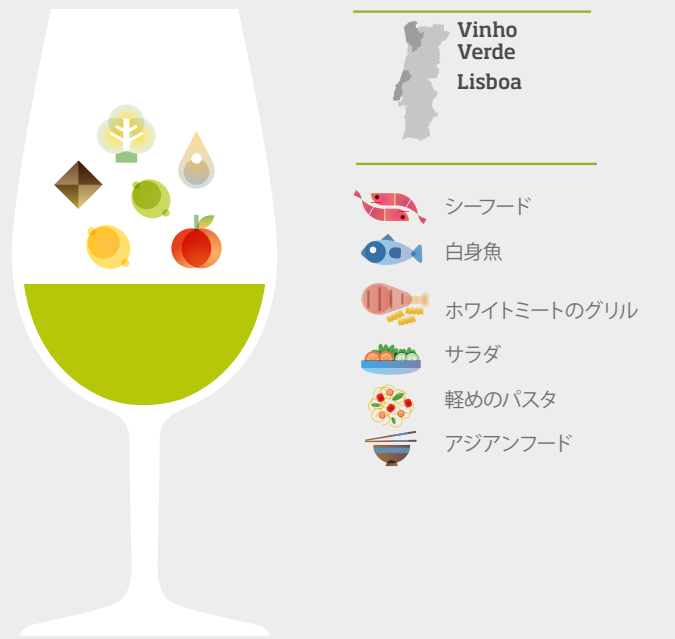
アルヴァリーニョ

アルヴァリーニョは、桃と柑橘果実、しばしばトロピカルフルーツや花のようなノートを主体とし、リッチでミネラルリティを帯びた個性豊かなワインを生み出す。特に有名な産地は、ヴィーニョ・ヴェルデのモンサオン・イ・メルガッソ副地方である。アルヴァリーニョは、一般的なヴィーニョ・ヴェルデに比べてよりボディに富み、アルコール度数が高い。また、しばしば単一品種でボトルリングされ、ラベルにその名が表示される。このようなワインは、ボトルリング直後も美味しいが、年月を経てさらに向上する可能性もある。アルヴァリーニョのクオリティーは、ポルトガルの他地方の生産者からも評価され、現在南部にまでゆっくりと広がっている。



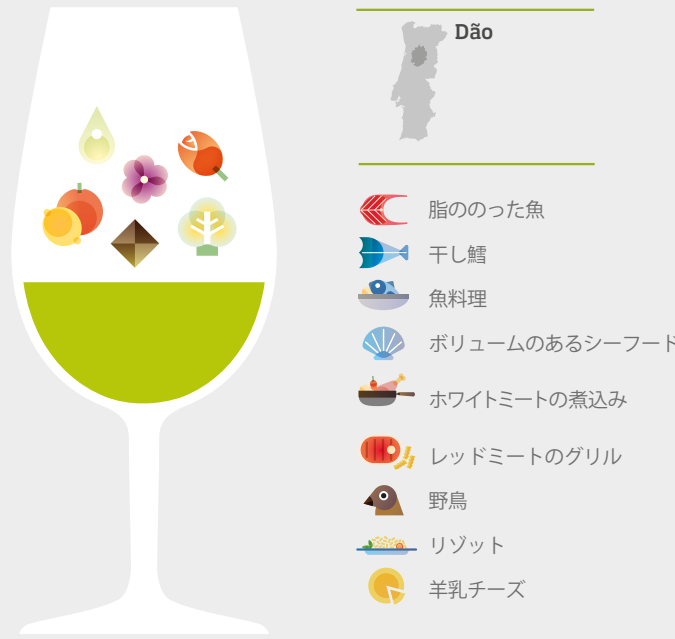
アリント/ペデルナア

アリント/ペデルナアは、リンゴとレモンの風味を主体とした、エレガントでミネラルリティ豊かな白ワインをもたらす。若々しくフレッシュな状態も美味しいが、年数を経るにつれ複雑味を帯びる。アリントは、有名なプセーラスのワインの主要品種である。果実の成熟が遅く、暑い気候でも清涼感を発揮するのが大きな利点だ。しばしば、暑く乾いた気候の他の白ブドウ品種にブレンドすることで、フレッシュなエレガントさを添える。また、持ち前の高い酸は、スパークリングワインの生産にも有利だ。



エンクルザード

エンクルザードは、エレガントでバランスがよく、花や柑橘系のデリケートなアロマと、しばしば魅力的なミネラルを感じさせるフルボディーの白ワインを生み出す。アンオークスタイルのピュアなエンクルザードも美味だが、樽発酵や樽熟成にもよく応え、より深く繊細で骨格のしっかりとした、年月とともにさらに複雑性を増していく長期熟成型のワインとなる。この品種は、特にダオン地方でもっとも多く見受けられるだろう。栽培面では、暑い気候であってもフレッシュな酸を保ち、甘くなり過ぎることなく完璧に成熟する。



フェルナオン・ビレス/マリア・ゴメス

フェルナオン・ビレス/マリア・ゴメスは、マスカットを思わせる豊かな芳香を備え、軽やかでフルーティーな白ワインをもたらす。柑橘果実の味わいとフローラルな芳香は、早飲み用に早く収穫した場合にもっとも鮮烈だ。この品種はスパークリングワインにも用いられ、ときとしてスイートワインを造るために遅く収穫される場合もある。ポルトガルでもっとも多く栽培される白ブドウであり、全国的に幅広く存在するが、特にペニンスラ・デ・セトゥーバル、テージョ、リスボン、バイラーダ地方を含む西海岸沿いに目立つ。マリア・ゴメスの別称でも知られる。



バガ

遅く収穫したこのブドウはタンニックなワインを生み出し、若いうちは収れん性が強く、熟成するにつれ複雑性を増す。ボトルリング当初のバガは、チェリーやセイヨウスモモの風味をもつ、リッチで濃厚な赤ワインである。熟成年数を経るにつれ、柔らかみを増し、ハーブ、モルト、シダー、タバコの葉のような複雑なフレーバーを帯びる。バイラーダが主要な地方だが、ダオンを含むベイラスの他地方でも育成する。また、スパークリングワインのベースにも使われる。



トウリガ・フランカ

トウリガ・フランカは、花々やブラックベリーなどの豊かな芳香と濃厚な色調を備えた、堅牢でリッチなワインを生み出す。この品種は、ポートワインの公式推奨品種5種のうちのひとつに数えられているほか、ブレンドのドウロワインにも使われる。実際、ドウロ渓谷でもっと幅広く栽培されているブドウであり、一般的にブレンドに用いられる。



トウリガ・ナショナル

堅牢で濃厚な色調のワイン（ポート）をもたらすトウリガ・ナショナルは、スミレ、リコリス、熟したカシスやラズベリーとともに、ベルガモットの微妙なハーブのヒントを思わせる複雑なアロマとフレーバーを有する。北部が原産だが、現在ではポルトガル全土で長期熟成型ワインを生み出すポテンシャルを備えたブドウとして広く栽培されている。



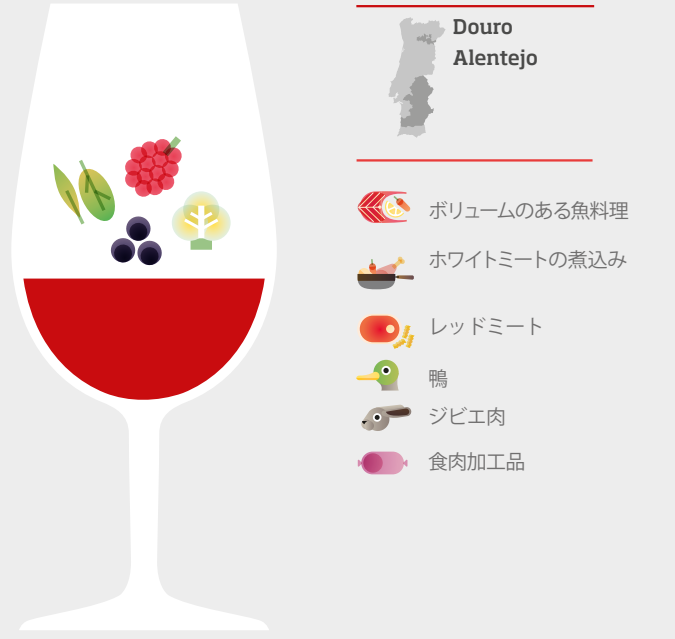
アラゴネス/ティンタ・ロリス

アラゴネス/ティンタ・ロリスから生まれる繊細でエレガントな赤ワインは、赤い果実、プラム、ブラックベリーのアロマと、熟成のポテンシャルをもたらす堅牢なタンニンを備えている。ポルトガル北部ではティンタ・ロリスと呼ばれ、ポート及びドウロワインにおけるトップ品種のひとつであるほか、ダオン地方にとっても重要なブドウだ。アレンテージョ地方ではアラゴネスと呼ばれ、一般的にトリンカデラなど他の品種とのブレンドに用いられる。



トリンカデラ/ティンタ・アマレラ

トリンカデラ/ティンタ・アマレラは、素晴らしく魅力的なラズベリーフルーツ、スパイス、ペッパー、ハーブのフレーバーと、非常に爽やかな酸を備えた赤ワインをもたらす。このブドウはポルトガル全国で育成するが、特に暑く乾いたエリアに適し、最良なのはおそらくアレンテージョ地方だろう。ドウロ地方では、ティンタ・アマレラの名で知られる。



カステラオン

ポルトガル南部でもっとも多く栽培されるブドウのひとつであり、シダーやシガレットケースへと発展するラズベリーフルーツのアロマを備えた、堅牢で繊細なワインを生み出す。首都リスボンの南、ペニンスラ・デ・セトゥーバル地方のバルメラ地方のような、砂地の土壌にもっとも適している。



アロマとテイスト

フルーティー	フローラル	ハーブ
リンゴ	カモミール	干し草
ベルガモット	フローラルノート	ユーカリ
ワイルドベリー	シスタス	香草
カシス	オレンジの花	レモンハーブ
ブラックプラム	スミレ	バリスミコビネガー
チェリー	ワイルドフラワー	ミネラル
柑橘類	バラ	石油
グレープ	特殊なアロマ	ミネラル
レモン	ブラックペッパー	スイーツ
ライム	リコリス	チョコレート
ブラックベリー	シガレットケース	ベジタブル
桃	タバコの葉	ベジタブル
プラム	スパイス	穀物
フランボワーズ	ウッディ	モルツ
パッションフルーツ	シダー	
トロピカルフルーツ	松脂	

PORTUGAL

WINES OF PORTUGAL

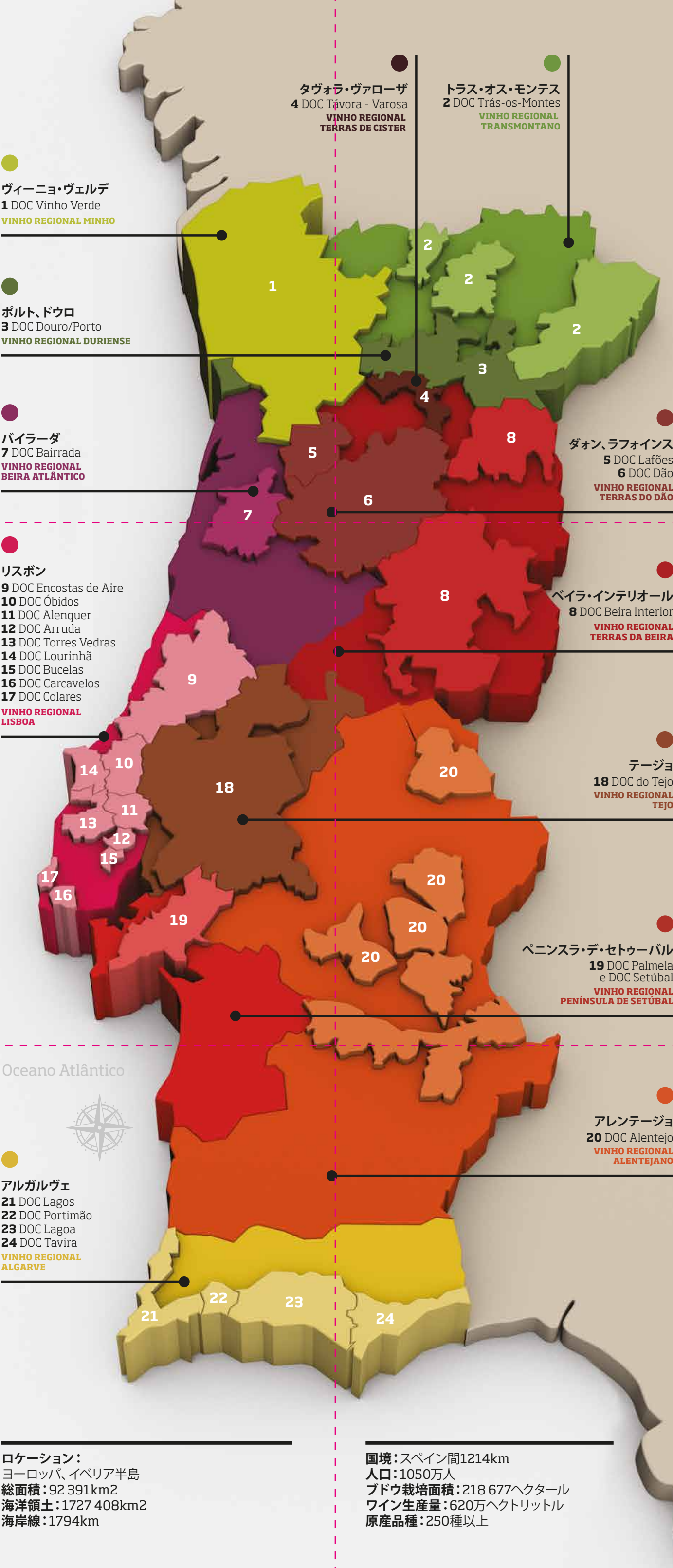
A World of Difference

ヨーロッパ最西端に位置するポルトガルは、小さな国ながら多様な土壌、微気候、ネイティブ品種に恵まれ、ワイン生産の完璧な条件を満たすとともに、卓抜したワイン生産の長い歴史を誇る国でもあるのだ。



アソーレス
26 DOC Graciosa
27 DOC Biscoitos
28 DOC Pico
VINHO REGIONAL AÇORES

マデイラ
25 DOC Madeira e DOC Madeirense
VINHO REGIONAL TERRAS MADEIRENSES



ポルトガルワインのラベルを解読しよう

Bruto: スパークリングワイン“辛口”の呼称。残糖12g/リットル以下。
Colheita: 収穫年。
Colheita tardia: 通常の収穫時期よりも遅く収穫したブドウで造られる、糖度の高いワイン。レイトハーヴェスト。
Doce: 残糖が、スティルワインの場合45g/リットル以上、スパークリングワインの場合50g/リットル以上のワイン。
Meio-seco: 残糖が、スティルワインの場合4～12g/リットル、スパークリングワインの場合32～50g/リットルのワイン。
Quinta: 名称に“Quinta”を冠するワインは、単にその名が示す特定のエステートからもたらされるブドウで造られたものであることを意味する。
Seco: 残糖4g/リットル以下のスティルワイン。
Seleção do Enólogo: ワインメーカーセレクション。ワインに対する公式の呼称ではないものの、ワインメーカーによる特別な提案。(例: ベストグレープセレクション、ベストバーセルセレクションなど。)
Vinho Branco/Rosé/Tinto: ワインの色に関する呼称。白品種、赤品種いずれで造られたかは関係がない。
Vinho Espumante: 二次発酵によって造られるワイン。瓶内二次発酵(クラシックまたはシャンパーニュ方式)、密閉タンク内二次発酵(シャルマ方式)。
Vinho Licoroso: 酒精強化ワイン。ブランデー等の添加により発酵を中断して造られるワイン。

ポルトガルおよびヨーロッパの公式呼称

DOC (ポルトガル) または DOP (ヨーロッパ) : 原産地呼称管理。各地方のワイン委員会によって管理される。ワインは、品種、生産技法、アルコール度数、産地など、各地方における特定の規定に準ずる。

Vinho Regional (ポルトガル) または IGP (ヨーロッパ) : 地方ワイン呼称管理。各地方のワイン委員会によって管理される。ワインは、品種、生産技法、アルコール度数、産地など、各地方における特定の規定に準ずる。これらの規定は、DOC/DOPに適用される規定ほど厳格ではない。

Vinho: “Vinho de mesa”は、地方のワイン委員会による認証を受けず、DOPまたはIGPに適用される規定に準じないワイン。

収穫年の表示を伴うDOP/IGPワインに関するポルトガルワインの公式分類

Grande Escolha: 各地方ワイン委員会のテイasting委員会によって評価された、卓抜した官能特性を備えたワイン。

Colheita Seleccionada: 卓抜した官能特性と、各地方ワイン委員会のテイasting委員会によって制定された最低値と同等かそれ以上 (1%) のアルコール度数を備えたワイン。

Garrafeira: 赤ワインの場合30カ月以上、うち12カ月以上瓶内、白ワインとロゼワインの場合12カ月以上、うち6か月以上瓶内という最低熟成期間の規定を満たすワイン。

Reserva: 卓抜した官能特性と、各地方ワイン委員会のテイasting委員会によって制定された最低値と同等かそれ以上 (0, 5%) のアルコール度数を備えたワイン。

Grande Reserva: 非常に卓抜した官能特性と、各地方ワイン委員会のテイasting委員会によって制定された最低値と同等かそれ以上 (1%) のアルコール度数を備えたワイン。

ロケーション:
ヨーロッパ、イベリア半島
総面積: 92 391km²
海洋領土: 1727 408km²
海岸線: 1794km

国境: スペイン間1214km
人口: 1050万人
ブドウ栽培面積: 218 677ヘクタール
ワイン生産量: 620万ヘクトリットル
原産品種: 250種以上